

様式第7号（第10条関係）

事業実施報告書

白川町地域活動リデザイン支援交付金交付要綱第10条の規定に基づき、次のとおり報告します。

団体名	
実施の時期・場所 ・内容	例： 月 日・公民館・勉強会の開催 月 日・〇〇町・地域づくり活動の視察 月 日・公民館・行事や役職の棚卸ワークショップ 月 日・地区内全戸配布・アンケート調査
参加者数・対象者	名 (役員・地域住民・関係者（必要に応じ対象を追加）)
活動の詳細	例：外部講師を招いた地域づくり勉強会の開催（ 回） 全戸配布による住民アンケートの実施（回収率 %）結果は別紙 既存行事や役の棚卸ワークショップの実施
実施の成果	例：地域の現状をデータや情報で共有し、活動の見直しに向けた一歩 を踏み出すことができた。
特記事項	

様式第8号（第10条関係）

リデザイン・プロセスの記録書

白川町地域活動リデザイン支援交付金交付要綱第10条の規定に基づき、本年度実施したリデザインの過程（話し合いや試行錯誤の内容）を次のとおり報告します。

項目	内容（地域の「本音」や「変化」を記入してください）
(1)地域の「いま」 を見つめる話し合 い (現状把握・棚卸し )	<b>【話し合いの過程】</b> (例) ・ 全戸アンケート実施し、70代の住民から「役の負担が重すぎる」「地域活動の担い手がない」など意見が出された。 ・ ワークショップを開催し、現在の行事や役職を見える化した。
2.「柔軟な最適化」 に向けた決断 (リデザインの具体 策)	<b>【改善・廃止・縮小・統合したもの】</b> (例) ・ 参加者が重複する防災訓練と集落点検活動を「合同開催」にまとめた。 ・ 一人何役もこなしていた役職を整理し、必要な時だけ手伝う「サポーター制」を導入した。
3.住民の反応 (合意形成の状況)	<b>【住民の声や雰囲気の変化】</b> (例) ・ 「これなら無理なく関われる」と若手から前向きな声が上がった。 ・ 行事をまとめたことで、準備の回数が減り、役員の負担感が減った。
4.次世代へつなぐ 「知恵」 (今後の展望・他地 区への助言)	<b>【活動を振り返って得た気付き】</b> (例) ・ 「伝統を守ること」と「形を変えること」を分けて考えることが大切だと気付いた。 ・ 数字（人口推計など）で現実を直視することが、話し合いの第一歩だった。

**【添付書類（プロセスの証拠となるもの）】**（例）

- ・ 住民アンケートの結果（集計表・グラフなど）
- ・ 活動の棚卸し表（行事や役職の一覧）
- ・ 人口推計マッピング（10年後の地域の姿を可視化した地図など）
- ・ 話し合いの様子がわかる写真
- ・ 住民に配布した広報誌・リーフレット